草木染め体験講座

令和5年3月19日(日)

１　活動名

「不知火のみかんの葉と茎で染物を体験しよう」

２　活動について

日時：2023年3月19日（日）①10時から11時　②14時から15時　（２回）

場所：宇城市不知火美術館・図書館・こども絵本の家（〒869-0552熊本県宇城市不知火町高良2352）

※あらかじめの準備（備品搬入・机の設営・湯沸し等）を9時開始にさせて頂きます。

参加者：各回10名

参加者の準備物：エプロン又は汚れてもいい服装、手拭きタオル

内容：不知火の葉や茎から煮出した染め液で木綿ブックバッグを染色します。生成りの生地が黄色に染まる体験を楽しんで頂きます。また、渋柿を使って、絵を描いたり文字を描いたりという染色体験もすることができます。

◎１ボールで３人から４人

３　準備

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 環境の構成、準備物 | 参加者の活動 | 留意点 |
| 9:00（13:00）10:00(14:00)10:05(14:05)10:15(14:15)10:30(14:30)10:40(14:40)11:00(15:00)11:30(15:30) | 準備・机にはあらかじめ新聞を敷く・備品を置く。・お湯の準備見本と説明カード①人数分の生地有田の方で行う。②名札をつける（生地・マジック）③絵付け（希望者）柿渋・藍液で絵付けをする。ニトリル手袋等の着用④不知火染めを行う。⑤仕上げる。水洗いをするためのバケツ（10個）の用意。⑥作ったものを見せ合う。ビニール袋に入れる。又は干す。解散片付け・撤収（有田） | ・ボール　・菜箸　・ネット　・ふきん　・手袋　・染料・生地　・筆　・媒染　・マジック　・名札　・安全ピン・カセットコンロ　・カセットボンベ・自己紹介とご挨拶・染める手順の説明①班分け（３人ずつ２班/４人１班）・テーブルに分かれ、生地を手に取っていただく。②油性マジックで小さな名札用の布に記名していただく。（安全ピンで止める）③絵付け・柿渋を摺り、藍液で色止めをする。・アイロンをかける。・貝灰汁に浸す。・バケツで水洗いをする。④染色（せんしょく）・準備していた不知火の葉や茎から煮出した液の入ったボールをテーブルに置く。・生地を班ごとのボールに入れる。⑤水でよく洗う・各自で生地を取り出して生地を水ですすぐ。⑥干場に濡れた生地を干す。・お手入れの仕方を知って頂く。終了です。 | ①班分け②染色中は液が手や衣類につくと染まりますので手袋の着用や菜箸のご利用をお願いします。③乾いたら媒染をする。④随時、交代をしながら生地を染めていただければと思います。⑤染め液を洗い流す。⑥持ち帰り用ビニール袋をお渡しする。・草木染め作品の色移り、色落ちについてご説明します。 |

※参考作品「不知火染めブックバッグ・ストール」

生地（A４サイズ　２０枚・B５サイズ　１０枚）

名札（生地２０枚と予備）

安全ピン（２０個）

マジック（１セット）

不知火の葉と茎（一回・・・３班＋１班）

不織布ネット（５枚×２回）

菜箸（４セット）

筆（柿渋染用）

バケツやおけ（染色後の生地を洗う用）・・・１０個

干場ビニール紐又は持ち帰り用ビニール袋・・・２５枚（予備を含む）

ビニール手袋・・・石鹸で落ちる程度ですが染色中使用する方用

菜箸・・・５セット

カセットコンロ

ガスボンベ

鍋（染め液煮出し用）またはボール・・・３つ

染色用ステンレスボール・・・大４個、染色用ステンレスボール・・・小４個又は鍋で代用

雑巾・・・数枚

新聞紙（テーブルの補強用と敷く物として）

作品見本とオブジェ

ゴミ袋

ハサミ

計量バケツ

手袋

小皿

貝灰

作品参考写真

